

令和6年度 氷丘中学校 いじめ防止対策プログラム 全体計画

- 基本理念
- ① 学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにする。
 - ② いじめの影響や問題について、生徒が理解を深められるようにする。
 - ③ 家庭、地域、関係機関との連携のもと、いじめ問題の解消を目指す。
- 基本目標
- いじめを「しない」「させない」「許さない」集団づくりと組織的支援の充実
- 行動目標
- ① 基本理念の共有と「チーム学校」としての組織的な推進体制を充実させる。
また、日々の実践と研修を通して教職員等の資質向上に努める。
 - ② いじめ問題等の未然防止・早期発見・早期対応に向けた取組を推進する。
 - ③ 道徳を要とした人権教育を推進する。

□基本構想

職員研修・家庭地域啓発等 職員会議等・推進体制	① 職員会議で、指導方針、全体計画、年間計画の共通理解を図る。 ② PDCA サイクルにより、7月・12月・3月に学期毎のいじめ対策の検証を行う。 ③ 生徒指導・いじめ対策委員会を月1回開催する。 ④ 地域と共に考える、校区青少年健全育成大会講演会を実施する。 ⑤ 生徒指導に関する校内研修会を年3回実施する。 ⑥ 人権教育プログラムの作成と実践を図る。
未然防止に向けた取組	① 「いじめ防止啓発月間」に「校内いじめ防止標語」の募集など、生徒会によるいじめ撲滅キャンペーンを実施する。 ② 年間を通し、テーマを決めた人権教育を実施する。 ③ 各学期に生徒の「居場所づくり」「絆づくり」を促進する取組を実施する。 ④ 協同的探究学習を積極的に取り入れ、自己肯定感を高める授業を推進する。また、特別活動を通してグループ活動を適切に運営する。 ⑤ ユニット活動の中に、ピア・サポート活動を取り入れる。 ⑥ 新入生保護者対象の情報モラル教育を実施する。（入学説明会） ⑦ 全校生徒対象の情報モラル教育を実施する。 ⑧ 人権参観日と人権作文発表会を実施する。
早期発見・早期対応 に向けた取組	① 「学校生活に関するアンケート」（アセス）を年2回実施し、支援策まで確実に実施する。 ② 「心の相談アンケート」を年2回実施し、生徒の実態を把握する。またそれに伴い、教育相談員の設置と相談を実施する。 ③ 2者面談、3者面談をそれぞれ年2回実施する。 ④ 「毎日の生活記録」を年間通して行い、学級担任が毎日チェックする。 ⑤ 積極的ないじめの認知を行い、直ちに組織的な対応を図るとともに、いじめ解消に向けて経過観察を続ける。（継続指導、再発や当該生徒以外への広がりへの防止）